

刊夕日一十二月十



刊日 日曜火 日二十月十年十和昭
刊日 日曜火 日二十月十年十和昭
刊日 日曜火 日二十月十年十和昭

座講識
エッセンシャルは至要
のとか眼目のとか云ふ
本体又は本質の謂、エ
ッセンスは同一意の精
粹心髄を指し、單にエ
ッセイなら評論とか論文
の意、其の作者、文豪
をエッセイストと云ふ

四倉市場の晩秋繭

取扱一萬二千五百貫

総金額七萬五千六百四十二圓
十二割余高い平均價格

四倉繭市場に於ける晩秋繭の取引は豫定の如く昨二十日を以て閉場したが本年の同繭取扱總高は一九〇〇件一萬二千五百貫、この代金七萬五千六百四十二圓八十六錢、最高七二圓九〇錢、最低四九圓、平均六三圓、に當りこれを昨年同様の取扱高である一八一一件一萬四千六十貫七百三十錢、代金七萬

御齊所街道の難所

本月末に愈よ竣功

道路の上下に數十尺の絶壁
ロープ一本が命の綱

縣道石川湯本線(通稱御齊所街道)に於ける縣直營の局部工區難工事中の難工と云はれる石住村才地内岩石切崩しは路線の下方に崖下約六十尺の峻川を控い上方の絶壁約四十尺崖にすがり只一と筋のロープを命の綱に頼り約二十名の作業夫が爆發整岩中で去る九月七日から車馬の交通を遮断し高野接手の現場監督で工を進めてゐる有様は見るからに物凄く漸く八分通りを過ぎつた該工事は愈よ本月末までに竣功の見込みであるが従來の同區間は路側の駒寄せを

磐城水産工業定

時株主總會
小名濱町磐城水産工業會社では来る三十一日午前十時から定時株主總會を開き決算決算その他を附議する

崩壊し其の上日頃の自動車交通に類する危険であつたもので附近を通じて約二百米の難所が一掃される譯である

三曲演奏

大家揃への
昨今非常な盛會
在縣軍人分會に於ける事業

石城地方の米價

漸く下落の模様
今日の共販相當の急落か

石城郡販賣に於ける今二十一一方に於ては政府米の拂下げの依米共販は出荷左記の如く總數四百九俵で各商人の競争入札を行はれたが刻々に至る開札の結果は詳細でなかつた其の以前に於ける一般の氣配から想像すれば前回の相場に比較して一俵につき五十錢乃至壹圓落ちを窺はれる拾壹圓五、六拾錢程度かと思はれてゐた向は先き行きとして昨今非常な急落の模様を呈した

凶作に喘ぐ農村

免租申請一千二百反
川前、田人は收穫皆無

郡下の凶作による稻作七割減收以上に對しては免租する事になり過般米稅務署で免租申請を取り纏め申出中であるが吉成郡駐在接手の調査による五町二十二ヶ村の申請反別合計一萬四千八百九十六件一千八百八十七反九畝四歩に達して

阿部親子を残し 他は全部釋放か

依然謎に包まる、三坂事件

反歩△永戸箕輪組合二百六
十町歩△田人六百九町八
反歩
反歩△川前村六百六町三
反歩
阿部親子を殘し他は全部釋放か
依然謎に包まる、三坂事件
廣報三坂村區長怪死事件は既に有力な被疑者として平署での取調により前記阿部親親に眞犯人ありとの確信を得たに眞犯人ありとの確信を得たに眞犯人ありとの確信を得た

好間古河軍優勝

前年の覇者原紡を破り
男爵優勝旗を獲得す

既報古河炭礦東京本社、同好間鐵業所、同社經營原町紡績工場三チームの社長古河男爵寄贈の大優勝旗争奪野球一戦は二十日午前八時から古河炭礦好間小籠球場に於て熱戦の火蓋を切つたが結局地元好間軍が前年度の覇者原町紡績から左記八チームの合戦を開

寺荒しの胡鼠泥

九品寺で鱈腹飯を詰込み
南町を徘徊中を檢擧さる

相馬郡大坪村生れ當時住所不定無職松岡清實三は二十日午後十時頃平町仲間町寺院九品寺住職遠藤光氏方の裏口から忍び入り鱈腹飯を詰め込んだ上小僧のオーパー、靴等を窃取逃走同十二時頃南町地内を徘徊中舉動不審で平署に檢擧された清實は坊様は情があるからと寺専門に荒し廻つてゐた事を自白餘罪取調中

點呼不參

無届で
眞綿掛の講習

當時石城郡赤井村福島炭礦探採夫藤山政之助は去八月一日郷里秋田縣仙北郡刈野村で執行された眞綿掛講習會に無届で参加せず秋田縣刈野村より依頼により平署で取調中であるが當人は病弱のため文書を以て平署、大野、赤井三ヶ所を終了

郷土史抄

遺影を偲ぶ
故濟先生の

一 菊浦文稿(第一號、墓碑銘)	漢文
一 〇本書ノ全編不詳、現存ハ一部	
一 不〇庵雜記(詩、雜文)	
一 諸家詩粹(無題假名)	
一 永沼運曉傳	
一 山縣大貳傳、二千八百餘言	
一 大鹽平八郎傳、五千六百餘言	
一 高山彦九郎傳、千九百餘言	
一 松本來藏傳、千二百餘言	
一 日下部伊之治傳、二千四百餘言	
一 清川八郎傳、二千七百餘言	
一 渡邊華山傳、千八百九十餘言	
一 池藏太傳、千六百六十餘言	
一 中島黃山傳、庚辰八月稿	
一 佐藤梅園傳、同九月稿	
一 世良修藏傳、壬午八月稿	
一 土口衡平傳、巳卯十一月	
一 越壯太郎傳、辛巳十月	
一 細谷風翁傳、同六月	
一 岩井田〇岳傳、癸未十一月	
一 三輪元綱傳、甲申四月	
一 常陽朋黨大記	
一 菊浦異聞(時事文集)	和漢
一 菊浦遺書(諸家文抄)	漢文
一 不〇庵遺書(諸家文粹)	和漢

産業方面

火力乾燥 枯露柿に就て

(4) 齋藤石城分場長
乾燥開始後二晝夜以上を経過した時乾燥器外に取り出し手を以て左右両面をもみ内部の水分の浸出を促した
三、火力乾燥後の処理
火力乾燥後約一晝夜天日乾燥を行つた、其の後果實の形を整へながら葉と果實とを併々に入れて浸込みを行つた、浸込み後果實にはゆる汗の浸み出た時屋内乾燥を行ひ汗の引く時を見て再び葉と果實と交互に重ね冷所に貯蔵し白粉の發生を促した
四、成績
(一)果實の調理及び乾燥の歩合
生果(八百個)三六五〇〇
久、調理果三二七〇〇
乾燥果一貫八五〇久、調理果歩合八八%、乾燥歩合(生果に對して)三三%、調理果に對して三六%
(二)煉炭の使用量及び乾燥器内の温度(華氏)
七寸煉炭八個、四寸煉炭四個
時刻(午前) 二時 四時 六時 八時

第一) 乾燥球	第二) 乾燥球	第三) 乾燥球	第四) 乾燥球	第五) 乾燥球	第六) 乾燥球	第七) 乾燥球	第八) 乾燥球	第九) 乾燥球	第十) 乾燥球
...

スペイン G・H・N 元詰
ゴルフポートワイン
甘味葡萄酒 1・10
婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です
(平2) 西村屋薬舗 (電3)

同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
...

お醤油は ヤマフル

醤油味贈 たいひら正宗 鯉節食料品

明治生命磐城代理店 山崎與三郎

電話一〇七〇番

秋の流行洋品御案内

新柄シヨール豊富陳列
ソフト帽とネクタイ多数取揃
優良毛布とパンヤ枕豊富
毛織最新型子服とケーンマント

にヤルツ

電話一六四番

産科 婦人科 長木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
平町新川町九一
入院隨意 病室完備 木村病院
電話一六四番

一般印刷物も御引受致します
新しいわき新聞社

内科、小兒科
大森醫院
醫學士 大森勇
平町町 電話二五八番

開院 五十嵐婦産科醫院
醫學博士 五十嵐雄二
入院需應 平町新川町一七
電話三七〇番

新時代の要求
附屬事業に等外看護婦部を特設いたし皆様の御用向へ身元確實なる婦人を派出致します

平看護婦會
平町町 電話三〇七
会長 清野キヨ

御手不足の御家庭
御病人の付添妊婦
産婦の御家庭
を御願致し

農村の更生振興に
天然加里肥
最も適應する作物!
蔬菜、馬鈴薯、里芋、しやうが類
作物に施用すれば抵抗力を與へ落果を防止します
天然加里肥は酸性でないから
如何に施用しても土質を感變する虞は絕對にありません

一俵 廿五錢
製造販賣 金成國雅
平町鎌田 電話六八八番

會員(同志)の御加入を御誘ひ致します
御加入を御誘ひ致します
御加入を御誘ひ致します

日下家政婦會
會長 日下すい子
電話(呼)一八九番

入院 應需
明雲堂眼科醫院
平町町 電話六六九番

便利で 經濟な 日下家政婦會の
派出婦を御利用下さいませ
身元確かで品行方正です
何をお任せしても安心です

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

平町町 電話五三三番
院長 醫學士 高久忠

高久病院

朝日

朝日新聞

朝日新聞

牛も豚も優良品の自慢

肉の御用命は 三三三屋

油問屋 關内油店
支店 支那山形市 電話三二八
支店 支那長平 電話七三
支店 支那長平 電話七三

ガソリン
モビール油
日本株式会社
特約販賣